

# データに基づく長野支部の 課題・重点施策について

# はじめに

令和6年度の支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定にあたっては、医療費・健診データに基づく課題・重点施策の検討を全支部で行うこととなっている。

本評議会では、現時点での課題把握と重点施策の検討状況をお示しし、各評議員の方からご意見をいただきたい。

## 策定スケジュール

- 11月上旬
  - ・本部が、協会全体の令和6年度事業計画案・支部KPI基準・支部保険者機能強化予算枠を支部に示す
  - ・支部において本格的な策定開始
- 12月上旬
  - ・支部が、課題・重点施策シートを本部に提出
- 12月中～下旬
  - ・支部が、支部事業計画・KPI・支部保険者機能強化予算案を本部に提出

# 1. データから見た支部の健康課題

## 全国平均との比較（情報系システム）

医療費 : 疾病分類別の1人当たり医療費の地域差指数がマイナスになっている疾病で、先天性や精神の疾病は支部での取組みによる改善が難しく、効果測定も困難と思われる。「内分泌、栄養及び代謝疾患」については、支部での取組みにより改善する可能性があり、健診結果及び医療費等で効果測定が可能。

健診結果 : 「**血圧リスクの保有率**」が経年で1%ポイント増加しており、他の健診結果の増加幅に比べて大きい。

## 長野支部の特徴

- 加入者のうち40～59歳の加入者数が多い。
- 50～69歳の1人当たり医療費が入院、入院外ともに他の年齢階級に比べて高い。

## 長野支部の医療費

- 疾病別、診療種別、年齢階級別の総医療費を集計したところ、医療費（全体、外来）および全体の医療費に対する構成割合が1番高かったのは、「**高血圧性疾患**」。
- 年齢階級別では50～70歳以上で「**高血圧性疾患**」の医療費が急増している。

# 1. データから見た支部の健康課題（全国平均との比較）

## 支部基本情報 医療費情報②

入院

ユーザー名：20002424

閲覧日時：2023-07-11 08:48:12

データソース更新日：2023-05

表示支部  
自支部のみ

統計年度  
2022

支部  
すべて

入院/入院外選択  
入院

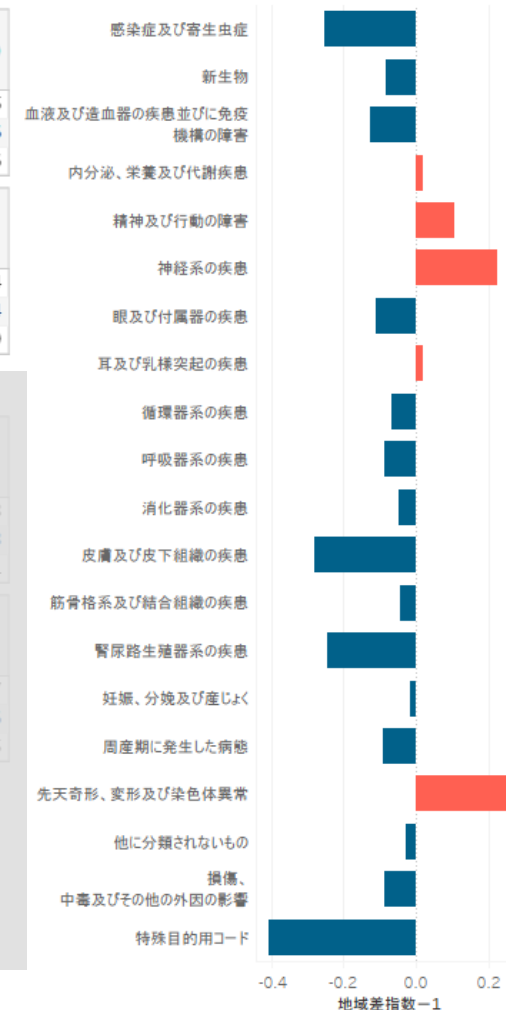
2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1(入院)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院)	新生物(入院)	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害(入院)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院)	精神及び行動の障害(入院)	神経系の疾患(入院)	眼及び付属器の疾患(入院)	耳及び乳様突起の疾患(入院)	循環器系の疾患(入院)	呼吸器系の疾患(入院)
2020	-0.193	-0.118	-0.326	0.071	0.159	0.392	-0.171	0.076	0.012	0.035
2021	-0.186	-0.107	-0.040	0.080	0.144	0.312	-0.114	0.105	-0.079	-0.046
2022	-0.254	-0.084	-0.128	0.018	0.106	0.227	-0.111	0.019	-0.066	-0.086

統計年度	消化器系の疾患(入院)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院)	腎尿路生殖器系の疾患(入院)	妊娠、分娩及び産じょく(入院)	周産期に発生した病態(入院)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院)	他に分類されないもの(入院)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院)	特殊目的用コード(入院)
2020	-0.053	-0.284	-0.011	-0.128	0.030	0.074	0.395	0.062	-0.081	-0.424
2021	-0.055	-0.211	0.040	-0.198	-0.004	0.105	0.272	0.094	-0.052	-0.454
2022	-0.046	-0.281	-0.045	-0.245	-0.014	-0.090	0.263	-0.029	-0.087	-0.409

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1



2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1(入院外)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院外)	新生物(入院外)	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害(入院外)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院外)	精神及び行動の障害(入院外)	神経系の疾患(入院外)	眼及び付属器の疾患(入院外)	耳及び乳様突起の疾患(入院外)	循環器系の疾患(入院外)	呼吸器系の疾患(入院外)
2020	-0.170	-0.062	0.349	-0.033	0.109	0.087	-0.092	-0.074	-0.096	-0.193
2021	-0.184	-0.048	0.296	-0.031	0.090	0.063	-0.095	-0.077	-0.100	-0.213
2022	-0.131	0.003	0.493	-0.007	0.105	0.084	-0.073	-0.077	-0.082	-0.171

統計年度	消化器系の疾患(入院外)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院外)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院外)	腎尿路生殖器系の疾患(入院外)	妊娠、分娩及び産じょく(入院外)	周産期に発生した病態(入院外)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院外)	他に分類されないもの(入院外)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院外)	特殊目的用コード(入院外)
2020	-0.140	-0.203	0.040	-0.148	-0.272	-0.024	0.203	-0.029	-0.070	-0.357
2021	-0.143	-0.207	0.034	-0.143	-0.263	-0.043	0.202	-0.071	-0.061	-0.366
2022	-0.132	-0.200	0.051	-0.113	-0.275	-0.015	0.124	0.009	-0.079	-0.025

2-3. 時間外受診率の地域差指数-1

統計年度	初診	再診
2020	-0.337	-0.627
2021	-0.341	-0.645
2022	-0.285	-0.633

※調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めています。

※情報システム 定型レポートP0003支部基本情報 (R5.7.11抽出)

# 1. データから見た支部の健康課題（全国平均との比較）

## 支部基本情報 医療費情報②

### 入院外

ユーザ名：20002424

閲覧日時：2023-07-11 08:48:12

データソース更新日：2023-05

表示支部  
自支部のみ

統計年度  
2022

支部  
すべて

入院/入院外選択  
入院外

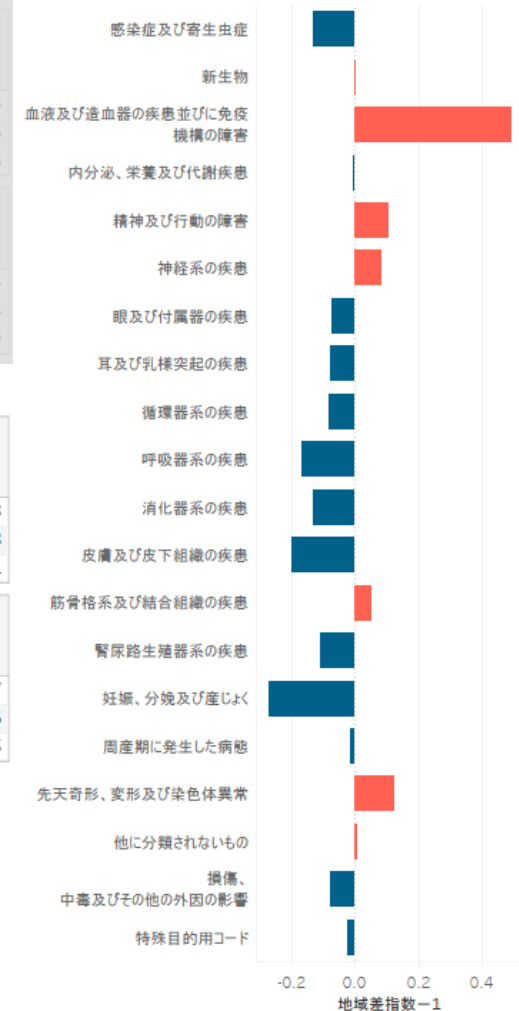
2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1(入院)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院)	新生物(入院)	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(入院)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院)	精神及び行動の障害(入院)	神経系の疾患(入院)	眼及び付属器の疾患(入院)	耳及び乳様突起の疾患(入院)	循環器系の疾患(入院)	呼吸器系の疾患(入院)
2020	-0.193	-0.118	-0.326	0.071	0.159	0.392	-0.171	0.076	0.012	0.035
2021	-0.186	-0.107	-0.040	0.080	0.144	0.312	-0.114	0.105	-0.079	-0.046
2022	-0.254	-0.084	-0.128	0.018	0.106	0.227	-0.111	0.019	-0.066	-0.086

統計年度	消化器系の疾患(入院)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院)	腎尿路生殖器系の疾患(入院)	妊娠、分娩及び産じょく(入院)	周産期に発生した病態(入院)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院)	他に分類されないもの(入院)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院)	特殊目的用コード(入院)
2020	-0.053	-0.284	-0.011	-0.128	0.030	0.074	0.395	0.062	-0.081	-0.424
2021	-0.055	-0.211	0.040	-0.198	-0.004	0.105	0.272	0.094	-0.052	-0.454
2022	-0.046	-0.281	-0.045	-0.245	-0.014	-0.090	0.263	-0.029	-0.087	-0.409

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1



2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1(入院外)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院外)	新生物(入院外)	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(入院外)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院外)	精神及び行動の障害(入院外)	神経系の疾患(入院外)	眼及び付属器の疾患(入院外)	耳及び乳様突起の疾患(入院外)	循環器系の疾患(入院外)	呼吸器系の疾患(入院外)
2020	-0.170	-0.062	0.349	-0.033	0.109	0.087	-0.092	-0.074	-0.096	-0.193
2021	-0.184	-0.048	0.296	-0.031	0.090	0.063	-0.095	-0.077	-0.100	-0.213
2022	-0.131	0.003	0.493	-0.007	0.105	0.084	-0.073	-0.077	-0.082	-0.171

統計年度	消化器系の疾患(入院外)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院外)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院外)	腎尿路生殖器系の疾患(入院外)	妊娠、分娩及び産じょく(入院外)	周産期に発生した病態(入院外)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院外)	他に分類されないもの(入院外)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院外)	特殊目的用コード(入院外)
2020	-0.140	-0.203	0.040	-0.148	-0.272	-0.024	0.203	-0.029	-0.070	-0.357
2021	-0.143	-0.207	0.034	-0.143	-0.263	-0.043	0.202	-0.071	-0.061	-0.366
2022	-0.132	-0.200	0.051	-0.113	-0.275	-0.015	0.124	0.009	-0.079	-0.025

2-3. 時間外受診率の地域差指数－1

統計年度	初診	再診
2020	-0.337	-0.627
2021	-0.341	-0.645
2022	-0.285	-0.633

※調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めています。

※情報系システム 定型レポートP0003支部基本情報 (R5.7.11抽出)

# 1. データから見た支部の健康課題（全国平均との比較）

## 支部基本情報 健診情報

表示支部  
自支部のみ

統計年度 2022  
支部 すべて

データソース更新日：2023-05

### 血圧リスクの定義

収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり

### 3-1. 健診受診率等

統計年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診受診率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勤奨後3か月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2020	51.6%	14.6%	27.7%	18.2%	0.0%	805
2021	54.1%	14.4%	29.9%	29.5%	0.0%	929
2022	57.8%	15.5%	28.5%	28.4%	2.6%	1,065

※以下項目には当面の間、暫定値が表示されます。  
・事業者健診受診率

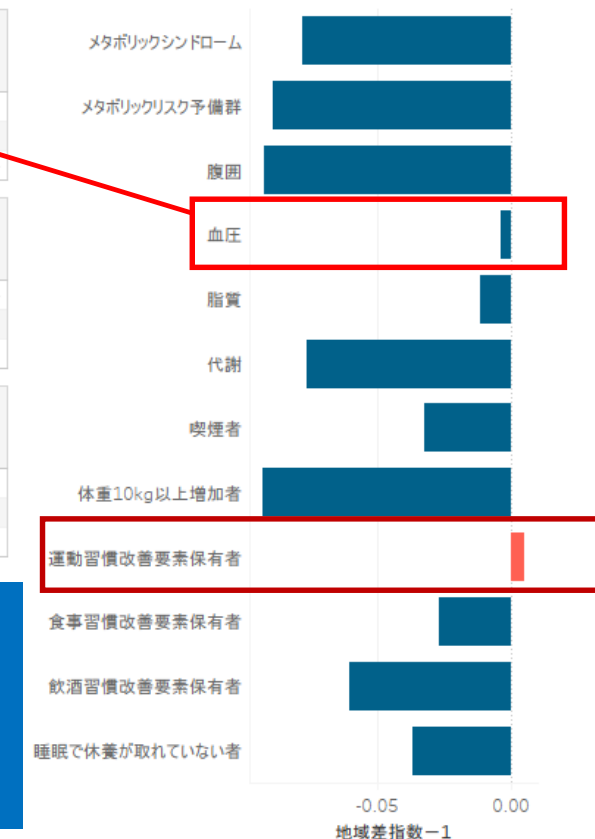
### 3-2. 健診結果及び問診結果

統計年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率	メタボリックシンドロームのリスク保有率 地域差指数-1	メタボリックリスク予備群の割合	メタボリックリスク予備群の割合 地域差指数-1	腹囲のリスク保有率	腹囲のリスク保有率 地域差指数-1	血圧のリスク保有率	血圧のリスク保有率 地域差指数-1
2020	14.4%	-0.081	11.7%	-0.095	32.0%	-0.097	44.8%	-0.013
2021	14.4%	-0.075	11.4%	-0.103	31.8%	-0.097	45.0%	-0.011
2022	14.5%	-0.078	11.6%	-0.089	31.9%	-0.092	45.8%	-0.004

統計年度	脂質のリスク保有率	脂質のリスク保有率 地域差指数-1	代謝のリスク保有率	代謝のリスク保有率 地域差指数-1	喫煙者の割合	喫煙者の割合 地域差指数-1	体重10kg以上増加者の割合	体重10kg以上増加者の割合 地域差指数-1
2020	28.4%	-0.009	14.6%	-0.055	27.0%	-0.057	36.7%	-0.104
2021	28.3%	-0.008	14.6%	-0.057	26.4%	-0.054	36.9%	-0.101
2022	28.4%	-0.011	14.5%	-0.077	27.0%	-0.032	37.2%	-0.093

統計年度	運動習慣改善要素保有者の割合	運動習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	食事習慣改善要素保有者の割合	食事習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	飲酒習慣改善要素保有者の割合	飲酒習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	睡眠で休養が取れていない者の割合	睡眠で休養が取れていない者の割合 地域差指数-1
2020	90.6%	0.003	68.0%	-0.020	27.3%	-0.059	33.6%	-0.073
2021	90.2%	0.004	67.9%	-0.022	26.7%	-0.056	34.2%	-0.059
2022	89.9%	0.005	67.7%	-0.027	26.4%	-0.060	35.9%	-0.037

### 健診結果及び問診結果の地域差指数-1



### 血圧リスク保有率

2020~2022年で **1%** 増加している

他のリスクは経年で減少傾向にあり、増加しているものも増加幅は1%未満（睡眠で休養が取れていない者を除く）

# 1. データから見た支部の健康課題（全国平均との比較）

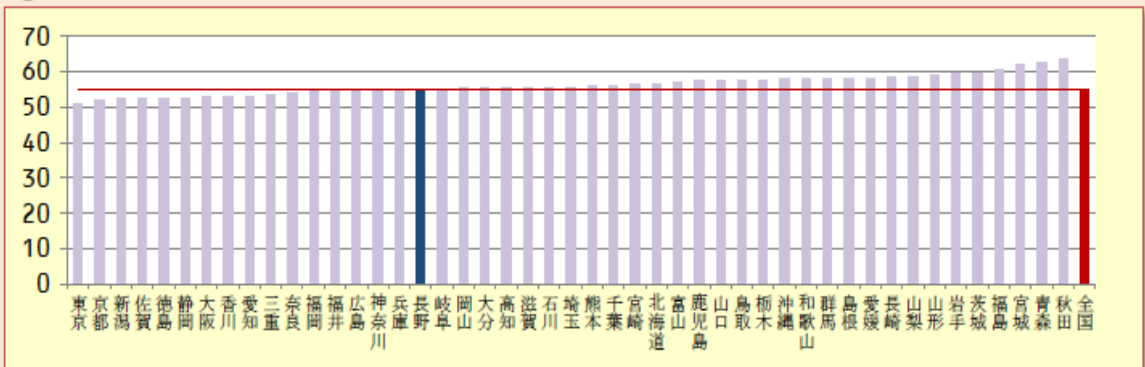
本部作成の「支部別スコアリングレポート」（健診結果集計）における長野支部の立ち位置

血圧リスク保有率において、男性は全国平均と同じ、女性は全国平均よりやや高い

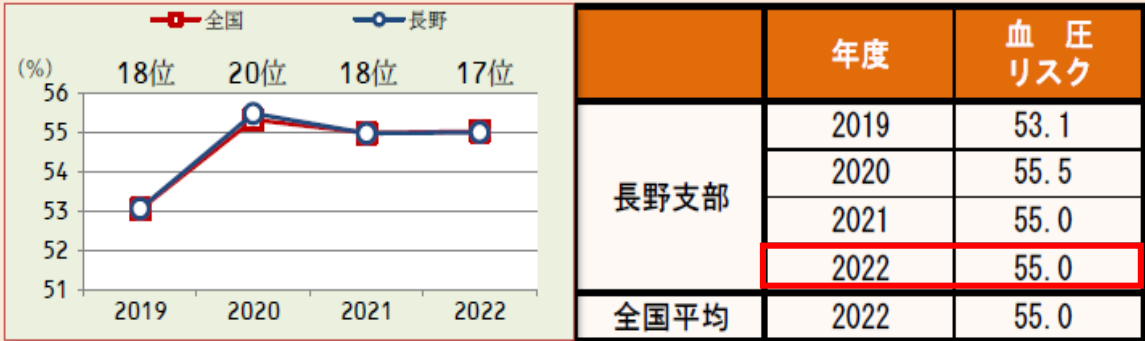
## 男性

### 指標4【血圧リスク保有者の割合】

①2022年度の全支部のリスク保有率と全国平均 (%)



②2019年度から2022年度の自支部のリスク保有率と全国順位及び全国平均 (%)

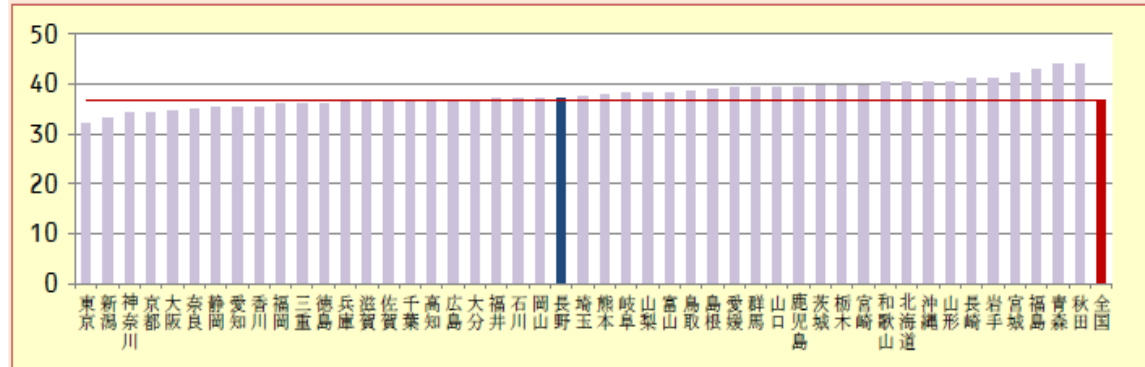


(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

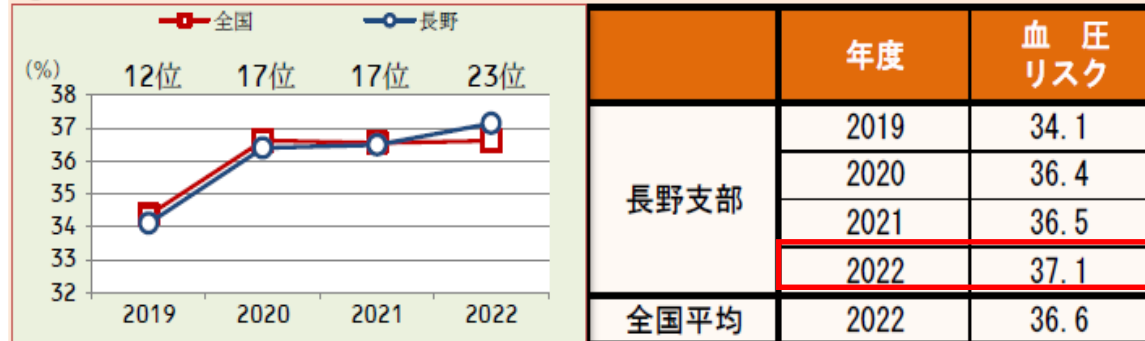
## 女性

### 指標4【血圧リスク保有者の割合】

①2022年度の全支部のリスク保有率と全国平均 (%)



②2019年度から2022年度の自支部のリスク保有率と全国順位及び全国平均 (%)



(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)



# 1. データから見た支部の健康課題（長野支部の医療費）

加入者

疾病別

診療種別

R3年度 診療種別医療費 ※総計 医療費高い順

行ラベル	入院	入院外	歯科	総計
<b>901高血圧性疾患</b>	87,280,140	5,611,007,213	0	5,698,287,353
210その他の悪性新生物<腫瘍>	2,280,351,710	2,242,357,515	0	4,522,709,225
<b>402糖尿病</b>	315,321,100	4,195,269,678	0	4,510,590,778
1113その他の消化器系の疾患	1,499,902,250	2,271,131,265	0	3,771,033,515
606その他の神経系の疾患	1,055,788,350	2,048,501,545	0	3,104,289,895
903その他の心疾患	1,958,511,830	1,055,539,220	0	3,014,051,050
211良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,387,981,640	1,520,658,218	0	2,908,639,858
1402腎不全	320,638,720	2,059,184,170	0	2,379,822,890
<b>403脂質異常症</b>	43,612,830	2,228,547,598	0	2,272,160,428
1310その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	658,385,160	1,436,500,052	0	2,094,885,212
総計	33,774,768,330	70,387,091,235	12,960,664,185	117,122,523,750

R3年度 診療種別レセ件数（長野支部）※【総計】件数多い順

行ラベル	入院	入院外	歯科	総計
<b>901高血圧性疾患</b>	305	379,427	0	379,732
703屈折及び調節の障害	229	186,318	0	186,547
1202皮膚炎及び湿疹	90	174,497	0	174,587
1006アレルギー性鼻炎	83	152,560	0	152,643
<b>403脂質異常症</b>	120	145,864	0	145,984
1203その他の皮膚及び皮下組織の疾患	186	144,991	0	145,177
<b>402糖尿病</b>	780	124,036	0	124,816
総計	58,127	3,761,349	1,079,744	4,899,220

## 全国における疾病別医療費 上位5疾病

疾病名	入院	入院外	総計
901高血圧性疾患	5,680,794,820	379,998,808,861	385,679,603,681
402糖尿病	23,064,090,140	283,834,385,097	306,898,475,237
210その他の悪性新生物<腫瘍>	150,526,152,970	128,275,050,057	278,801,203,027
1113その他の消化器系の疾患	97,099,044,940	159,187,592,298	256,286,637,238
1402腎不全	22,459,399,720	161,532,314,417	183,991,714,137

全国でも最も医療費が高いのは「高血圧性疾患」



# 1. データから見た支部の健康課題（長野支部の医療費）

50歳～高血圧性疾患の総医療費、レセ件数が急増している

加入者

疾病別

年齢階級別

R3年度 疾病別医療費（長野支部）※医療費高い順

行ラベル	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
<b>901高血圧性疾患</b>	2,276,130	1,295,740	12,266,510	93,275,963	577,161,062	1,604,750,202	2,377,161,687	1,030,100,058	5,698,287,353
210その他の悪性新生物<腫瘍>	63,506,150	121,789,990	65,279,053	154,785,354	517,658,940	1,133,605,521	1,627,611,518	838,472,699	4,522,709,225
<b>402糖尿病</b>	12,075,240	43,136,060	74,624,936	231,619,264	638,743,110	1,292,621,652	1,493,372,783	724,397,735	4,510,590,778
1113その他の消化器系の疾患	236,960,806	230,009,149	350,979,042	450,633,704	674,379,102	770,082,326	771,742,418	286,246,968	3,771,033,515
606その他の神経系の疾患	127,379,447	233,291,267	193,612,673	315,904,867	587,308,641	744,141,237	677,743,662	224,908,102	3,104,289,895
903その他の心疾患	96,785,530	78,218,251	141,005,719	132,249,963	347,855,215	684,245,521	1,001,335,711	532,355,139	3,014,051,050
211良新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	75,360,405	103,043,723	136,855,202	326,040,685	828,078,949	640,927,341	592,157,270	206,176,281	2,908,639,858
1402腎不全	44,327,510	6,406,670	22,918,240	85,679,865	293,841,097	792,376,693	789,523,192	344,749,623	2,379,822,890
<b>403脂質異常症</b>	529,400	8,240,340	23,100,420	82,367,025	331,083,395	630,291,876	864,386,722	332,161,250	2,272,160,428
総計	10,003,009,086	7,773,580,571	7,344,813,374	10,555,052,856	17,410,877,656	24,401,525,646	27,537,177,726	12,096,486,836	117,122,523,750

R3年度 全体の医療費に対する構成割合（長野支部）※総計高い順

行ラベル	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
<b>901高血圧性疾患</b>	0.0%	0.0%	0.2%	0.9%	3.3%	6.6%	8.6%	8.5%	4.9%
210その他の悪性新生物<腫瘍>	0.6%	1.6%	0.9%	1.5%	3.0%	4.6%	5.9%	6.9%	3.9%
<b>402糖尿病</b>	0.1%	0.6%	1.0%	2.2%	3.7%	5.3%	5.4%	6.0%	3.9%
1113その他の消化器系の疾患	2.4%	3.0%	4.8%	4.3%	3.9%	3.2%	2.8%	2.4%	3.2%
606その他の神経系の疾患	1.3%	3.0%	2.6%	3.0%	3.4%	3.0%	2.5%	1.9%	2.7%
903その他の心疾患	1.0%	1.0%	1.9%	1.3%	2.0%	2.8%	3.6%	4.4%	2.6%
211良新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	0.8%	1.3%	1.9%	3.1%	4.8%	2.6%	2.2%	1.7%	2.5%
1402腎不全	0.4%	0.1%	0.3%	0.8%	1.7%	3.2%	2.9%	2.8%	2.0%
<b>403脂質異常症</b>	0.0%	0.1%	0.3%	0.8%	1.9%	2.6%	3.1%	2.7%	1.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全国の医療費	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
901高血圧性疾患	3.7%	6.9%	8.8%	9.1%

R3年度 疾病別レセ件数（長野支部）※件数多い順

行ラベル	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
<b>901高血圧性疾患</b>	6	82	916	6,332	41,923	112,598	157,020	60,855	379,732
703屈折及び調節の障害	16,034	35,478	18,974	17,996	26,933	29,826	29,532	11,774	186,547
1202皮膚炎及び湿疹	45,063	23,299	21,899	21,807	25,054	19,279	14,111	4,075	174,587
1006アレルギー性鼻炎	32,485	28,878	12,138	19,347	24,772	19,092	12,939	2,992	152,643
<b>403脂質異常症</b>	57	788	1,616	5,392	18,631	43,369	57,960	18,171	145,984
1203その他の皮膚及び皮下組織の疾患	25,745	28,691	21,037	15,834	19,762	17,665	12,474	3,969	145,177
<b>402糖尿病</b>	146	921	2,171	6,445	18,303	34,488	43,450	18,892	124,816
606その他の神経系の疾患	1,123	4,394	5,963	11,574	23,313	27,001	22,418	7,174	102,960
1113その他の消化器系の疾患	11,994	5,348	8,301	12,960	17,478	19,530	18,619	6,298	100,528
総計	534,517	426,950	365,963	503,357	800,087	960,348	964,853	343,145	4,899,220

※R3年度加入者医療費基本情報データを使用（本部提供）

# 1. データから見た支部の健康課題（長野支部の加入者構造）

R3年度平均加入者数

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
20長野	63,393	80,688	78,979	88,370	124,062	112,683	83,684	23,407	655,265

年齢構成割合

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
20長野	9.7%	12.3%	12.1%	13.5%	18.9%	17.2%	12.8%	3.6%	100.0%

40～49歳、50～59歳の加入者数が多い

1人当たり医療費（年齢調整計算）

年齢調整後

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	1人当たり医療費
20長野	15,148	11,048	12,122	17,525	26,523	36,469	39,844	17,451	176,130

入院

1人当たり医療費（年齢調整計算）

年齢調整後

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	1人当たり医療費
20長野	5,238	2,984	3,134	4,739	6,112	9,670	12,543	6,220	50,641

外来（調剤含む）

1人当たり医療費（年齢調整計算）

年齢調整後

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	1人当たり医療費
20長野	8,562	6,705	7,129	10,230	16,557	22,779	23,782	10,080	105,825

50～59歳の外来の1人当たり医療費が他の診療種別に比べて高い

歯科

1人当たり医療費（年齢調整計算）

年齢調整後

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	1人当たり医療費
20長野	1,348	1,359	1,858	2,557	3,854	4,019	3,519	1,150	19,664

## 2. 支部の健康課題に対する考察

◆50歳から「**高血圧性疾患**」の医療費が急増する。高血圧は長期間の通院、服薬が必要となり、発症してから症状を改善することや医療費の軽減は難しい。

※（株）日本医薬総合研究所の分析では、生活習慣病薬は**長期DO処方**割合が大きいという結果が出ている。40歳以上で半数の患者が長期DO処方に該当し、薬効別患者数構成比、処方箋枚数構成比では「血圧降下剤」「高脂血症用剤」が高い割合となっている。

※**DO処方**：同一医療機関からの外来処方において、今回の処方が前回と同じ内容であること。前回と同じ内容とは、薬価基準収載コード9桁が一致（同一成分、同一経路、同一規格）した場合をいう。

※**長期DO処方**：処方日数にして180日以上にわたって続いているときのDO処方。

◆長野支部の中でレセプト件数が多く、全体の医療費で高い割合を占める「**高血圧性疾患**」について、**40～49歳**の被保険者をターゲットに予防等の取り組みを行うことで、将来の医療費削減につながるのではないかと。

## 3. 実施内容の検討

### 事業の目的

- 【案】医療及び協会から関与していないが血圧リスク保有あるいは保有に近い状態にある方に、高血圧疾患の予防を働きかけ、発症させないあるいは発症を遅らせることで医療費の増加を抑える。

### 事業の内容

- 【案】治療をしていないが、血圧値が危うい被保険者に何らかの注意喚起をするため、文書を直接送る。
- 【検討】どういう方に送るか。
- 【検討】何を送るか。（チラシ、お手紙のようなもの、・・・）

### 対象者（ボリューム）

- 【検討】「40代の被保険者」、「40代及び50代の被保険者」どこまで絞るか。
- 【検討】血圧値の基準として、「収縮120-129、拡張80-85」「収縮120-159、拡張80-99」（特保対象者含む）とするか。

### 実施方法

- 【案】健診結果の見方、高血圧がからだにもたらす影響を記載したチラシを作成（購入）し、対象者全員に送付する。
- 【案】過去の健診結果を確認し、対象者を上昇傾向の方と下降傾向の方を分け、状況に応じた文書を送付する。
- 【案】動画を作成し対象者に周知する。（県が作成した動画を利用する等も考えられる）
- 【案】目にとまりやすいフリーペーパーに、記事を掲載し周知する。

### 3. 実施内容の検討（ターゲット）

R3年度健診受診者数

積極的支援	動機付け支援	なし	判定不能	総計
21,305	15,089	176,820	48	213,262

※R3年度健診受診者リスト、R3年度特定健診（事業者健診）受診者リストの「保健指導レベル\_保険者」項目を集計

※生活習慣病予防健診、事業者健診を受診した長野支部加入の被保険者

※任意継続を除く

	特定保健指導対象				特定保健指導対象外	
受けた人数	12,511 (※うち初回なし、最終のみあり630人)				2,265 (※保健指導レベル「なし」だが、初回、最終の日付あり)	
受けていない人数 (23,883)	①受診勧奨（血压数値） 収縮160以上または拡張100以下	②血压リスクあり 収縮130以上または拡張85以上	③血压予備軍 収縮120-129かつ拡張80-84	④血压リスクなしで③以外 (他のリスクで特保対象)	血压予備軍（服薬なし） 収縮120-129かつ拡張80-84	血压予備軍（服薬あり） 収縮120-129かつ拡張80-84
	3,054	12,822	1,388	6,619	8,972	2,441
					「血压リスクなし」かつ「血压予備軍でない」	
					102,713	

#### 年代別に分けた対象人数

	血压 収縮120-159、拡張80-99	血压 収縮120-129、拡張80-84	総数
40代被保険者	9,283	4,028	124,062
40代及び50代被保険者	17,642	7,586	236,745